

地域の実情と課題

- ・市の審議会等委員に占める女性の割合は低く、「女性の意見」が市政に十分反映されていない現状がある
- ・市民意識調査等から、地域社会における活動に女性の参画が少ない理由として、「男性が担うことのしきたりや慣習」のほか、「女性自身が消極的」といった、女性を取り巻く環境やアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)が挙げられた
- ・男女共同参画の社会づくりとして、職場や地域、家庭等における男性の意識改革に加え、女性自身の意識も変えていく必要があるなど、課題解決に向けた抜本的な施策の必要性が増してきた

事業の特徴

【実践的なカリキュラム】

「聴く力」、「話す力」、「論点を押え整理する力」などの、社会、地域で活躍するために不可欠な、実践力を身に着ける講座を年間10回、その他に課外講座(卒業生も講師を務める)、公開講座を開催し充実した学びの機会の提供。

【パートナー制度】

学生が家族や友人、職場の上司や同僚等を講座に招待。共に学ぶ環境をつくることにより学生自身及び周囲の方に大学について理解を深めていただく取組

【学生にクロームブックの貸与】

レポート提出や情報共有の手段とし、仲間や大学と繋がりやすい環境の整備

【個々の目標達成への寄り添い】

個人面談による相談支援、卒業後のフォローなどエンカレッジ教育を実践

事業の効果

- ・知識や技能の習得・向上のほか学生同士で刺激し合う学びの相乗効果により、一人ひとりが自己肯定感を高め、なりたい自分・目標を明確にし、職場や地域などあらゆる分野で活躍する女性の育成が図られる
- ・大学での学びの成果がそれぞれ活躍する場所で点となり、点から線へと地域に広がることにより、男性の意識改革及び女性の行動変容が促される
- ・職場では管理職への昇進や職場の変革に積極的に関わる意欲が期待される
- ・習得したスキルを活かして審議会等の委員として市政等へ積極的に参加することにより、市は意思決定の場に女性の視点や多様な意見を取り入れ、より公正で開かれた実効性のある政策、社会が実現すると期待される
- ・市の審議会等への女性委員の登用率向上が図られる

目的・目標

- 男女共同参画社会の実現を図るため、条例で位置付けられた市民大学
- ・女性のあらゆる分野での活躍を支援し、様々な場面で活躍できる人材の育成
- ・大学での学びを、職場や地域、家庭などで活かし、自分らしく輝いた人生を送るとともに、市政等へ女性の視点や多様な意見を取り入れての参加も期待
- 【事業目標】卒業生の中で市の審議会等へ推薦するため「佐久市女性活躍人材バンク」に登録した人の割合 目標値100%・実績70%
- 【事業KPI】佐久平女性大学へ入学したことでスキルアップが図られ、成果を感じた人の割合 目標値100%・実績100%

連携団体

- 地域の企業と連携し社会貢献活動を実施
- 男女共同参画社会づくりを推進する市民団体「パートナーシップ佐久」と共に学び合う関係づくり
- 佐久市企業人権同和教育推進連絡協議会
協議会を構成する企業に対し、所属する社員の積極的な受講や学びへの支援体制を働きかけ
・学生募集や受講中・卒業後のフォロー
・「パートナー制度」の活用(上司等が共に学び学生や大学に理解を深める)
- 県内公立高等学校
高校生に男女共同参画や女性活躍推進について関心を与える場として「総合的な探究の時間」を活用し、ジェンダーギャップの現状や本大学の取組を紹介

今後の課題

本大学運営事業では、受講した学生の意識が大きく変化したことが伺えた。今後も卒業生を含めた女性活躍推進を担う女性が増えることにより、男性を含めた周囲の方々の理解を促進する効果が見込める。しかしながら、男性主体の自治会や地域特有の課題を抱える中で、男性の意識改革に加え、女性自身の意識改革、女性の起業家育成の推進等をしていくにあたり、佐久平女性大学事業のような取組を継続して実施していく必要がある

事業の概要

大学の目的

女性があらゆる分野で活躍することを支援する事業の一環として、知識や技能の向上を図ること、活力ある地域づくりと心豊かな地域の仲間を作ることを目的としています。

大学の特色

ニューノーマルな時代に生涯成長、生涯就業力を持った女性を育成するため“**みつめる！まなぶ！つながる！いかす！**”を合言葉に独自の教養講座と実践講座による学生一人ひとりへのエンカレッジ教育（個々の目標達成に向けた寄り添った教育）に取り組めます。

安心して学べる環境を整備

みつめる

自分らしい生き方、
時代が求める女性像、
女性が求める社会

まなぶ

教養・実践の講座
ミクロ・マクロの視点
聴く力・伝える力
質問・提案する力

タブレット 型PC貸与

学生同士、学生
と大学が繋がる

パートナー制度
家族や職場の上司
と一緒に参加し、
学びを共有する

心理的安全性
自分の考えや
気持ちを安心して
発言できる場

つながる

自分×大学×職場
×地域×家庭×仲間
そして生きがいに

いかす

職場で、地域で、
家庭で、今できる
ことから一歩ずつ

無料の託児

学生が安心して
学べる

大学の内容等

- 内容 教養講座及び実践講座
- 回数 年10回程度
- 時間 毎回6時間程度
- 場所 佐久市役所ほか
- 定員 20名程度
- 学費 無料
- 入学資格 市内に居住又は通勤・通学する
18歳以上65歳未満の女性
- 卒業要件 8割以上の出席



講座の様子



プラチナ大賞優秀賞（女性活躍促進賞）受賞

全国の自治体や企業から応募のあった44件の取組の中から、佐久市が実施する女性活躍推進の取組が優秀賞を受賞しました。